

昔は、冬、雪が積もると、地区の人たち 総出で道の雪かきをしたこともあったな

三和町 柴田晃郎さん

自然に恵まれた三和町に長年住まれて、自然環境
の変化に何か気付かれたことはありますか



地球温暖化についてといわれても、あまり分かりませんが、私の住んでいる三和町でも昔と比べると、確かに冬は暖かくなったと思います。

昔は、三和町にも定期バスが通っていましたが、冬、雪が積もると、バスの運行に支障が出るから

と、地区の人たちが総出で雪かきをしたことを覚えています。

ひと冬に4〜5回は、雪かきをしたかどうか。でも、今はそんなに雪は降りなくなりましたと思いますよ。

夏よりも冬の方が、暖かくなってきた気がします。

気候の話ではないですが、昔、三和町の山林には松が茂り、秋になるとマツタケがよく採れたものでしたが、今では収穫量もほんの少しになってしまいました。

昭和40年代から次第に松が枯れ始め、今ではほとんど枯れてしまいました。

原因としては、松くい虫(マツ材線虫病)によるものが多いようでしたが、ある調査では、枯死した松の木の間割かは、酸性雨の影響によるものだったと聞いています。

限られた化石燃料の節約とクリーンエネルギーである太陽エネルギーの有効利用を図り、 太陽光発電システムを導入

市では、みのかも文化の森などに「太陽光発電システム」を導入しています。

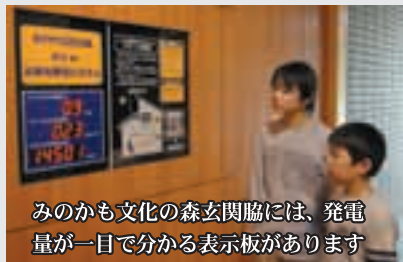
このシステムは、屋根に設置した太陽電池パネルで発電した直流電気を交流に変換して利用するものです。

みのかも文化の森では、32枚の電池パネルが展示棟の屋上に設置されていて、その電池パネルから発電する電気の量は、一般家庭一戸分の電気を賄うこ

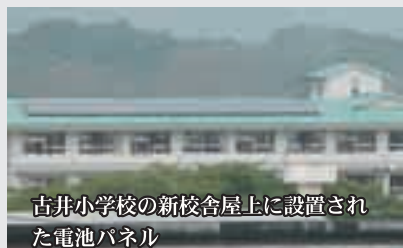
とができます。

日照時間などの影響にもよりますが、1カ月の消費電力の約一割を発電しています。

このほか、市内の古井、加茂野、下米田の各小学校にも校舎の増改築時に「太陽光発電システム」を導入しており、児童の皆さんは、身近なところでクリーンエネルギーの大切さを学んでいます。



みのかも文化の森玄関脇には、発電量が一日で分かる表示板があります



古井小学校の新校舎屋上に設置された電池パネル



加茂野小学校の太陽光発電システムの表示板